

この国の前進に向け努力する

デジタル田園都市国家構想担当大臣 河野 太郎

皆さまにおかれましては、先般のコロナワクチン接種の推進にあたり、大変ご協力、ご支援を賜りましたこと、また、今回のマイナンバー紐付けの総点検にご協力を賜っておりますことに改めて御礼を申し上げます。

現在、地域のDXの推進の中で、それぞれの自治体の20の基幹業務システムの標準化、ガバメントクラウドへの移行のお願いをしているところです。総務大臣からもお話がありましたが、この標準化とガバメントクラウドへの移行の経費につきましては、国が全部費用を負担することになっておりますので、ご安心いただきたいと思います。また、運用経費につきましても、ガバメントクラウドのボリュームディスカウントやクラウドネイティブのソフト開発等を通じて削減できるように努力してまいります。ベンダーからの見積もりについて疑問がありましたら、遠慮なくデジタル庁にお問い合わせいただき、デジタル庁でも一緒に点検をさせていただきたいと思っております。

地方自治は大事であります。政策を選択する前段階の、書類の様式や業務の流れについては、統一した方が遥かに効率的になります。来年からは、例えば、保育園の手続きに必要な就労証明書のフォーマットを統一し、マイナポータルを通じて自治体に提出できるようにしていきます。統一できるものはしっかりと統一して、コストを下げていきたいと思っております。

また、全国色々なところで公共交通機関の撤退や本数が減少しているところが増えております。自動運転の積極的な導入や第二種免許の規制緩和、そしてライドシェアの導入により地域の足を維持していきたいと思っております。守るべきは規制ではなく移動の自由であります。同様に、それぞれの自治体の皆さまが積極的に推進したい施策が規制でできないということがありましたら、どうぞご意見をお寄せいただきたいと思います。時代に合わせて規制を積極的に変えていきたいと思っております。ぜひ皆さまと一緒に、この日本がしっかりと前に進めるように努力していきたいと思っております。

全国町村長大会のご盛会と皆さまのご健勝、そしてそれぞれの地域のご発展をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。